

科目区分	専門基礎分野	科目名	疾病・治療論Ⅲ (消化器、内分泌)	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(30H)	学 期	第2学期
担当講師	医師				
科目目標	1. 消化・吸収、内分泌の病的状態における構造変化、機能異常および診断、治療を理解する。				
授業概要					
第1～10回	消化器疾患の病態、診断方法、治療方法:20H 担当:医師(講義) 消化管の炎症と潰瘍 消化管の腫瘍 イレウス 肝臓・胆嚢・膵臓の炎症 肝硬変 肝臓・胆嚢・膵臓の腫瘍 胆汁代謝・排泄障害 肝不全				
第11～14回	内分泌・代謝疾患の病態、診断方法、治療方法:10H 担当:医師(講義) 内分泌機能の低下・亢進 内分泌器管の炎症 内分泌器管の腫瘍 糖代謝の異常 下垂体の疾患 甲状腺の疾患 上皮小体の疾患 副腎の疾患 多発性内分泌腫瘍				
第15回	まとめ・終了試験				
看護師国家試験出題基準					
上部消化管の疾患の病態と診断・治療: 炎症性疾患(逆流性食道炎・急性胃炎・慢性胃炎・ヘリコバクターピロリ感染症)、潰瘍性疾患(胃潰瘍・十二指腸潰瘍)、腫瘍					
下部消化管の疾患の病態と診断・治療: 炎症性疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病)、イレウス、腫瘍 肝臓・胆嚢・膵臓の疾患の病態と診断・治療: 炎症性疾患(肝炎・胆管炎・膵炎)、肝硬変、腫瘍、脂肪肝、アルコール肝炎、胆石症					
内分泌系の疾患の病態と診断・治療: 間脳・下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、腫瘍 代謝異常の疾患の病態と診断・治療: 糖尿病、メタボリックシンドローム、肥満症、脂質異常症、高尿酸血症					
授業の進め方					
形態と機能での学習内容をふまえ、講義形式で進める。					
履修のポイント・留意事項					
人体の正常な形態と機能を基礎として、病的状態におこる構造と機能異常の関係や発生機序、診断方法、治療方法とその過程を学び、看護の関わり方、援助方法を考察する。					
テキスト					
系統看護学講座	成人看護学	消化器	医学書院		
系統看護学講座	成人看護学	内分泌・代謝	医学書院		
評価方法・配点					
授業への取り組み状況、終了試験にて総合的に評価する。					